（国営総合農地防災事業）

雨竜川下流地区

～農作物の安定した生産のために～

【地域の概要】

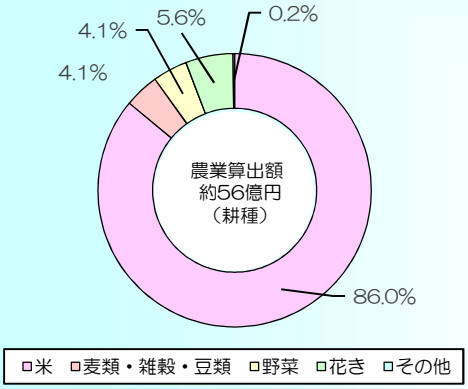
本地区は、北海道雨竜郡妹背牛町及び秩父別町に位置する農業地帯であり、水稲を主体に水田の畑利用による畑作物、野菜類及び花きを組み合わせた営農が展開されています。

地域農業は、水稲の算出額割合が86%と高く、北海道で生産される米の約4%を占めています。生産された米は各町が所有する低温貯留乾燥調整施設で保管され、地域ブランド米（妹背牛町「北彩香」、秩父別町「いなほの鐘」）として、道内外に販売されています。

また、農商工連携により「ちっぷべつ緑のナポリタン」を販売し、地域の発展に寄与しています。

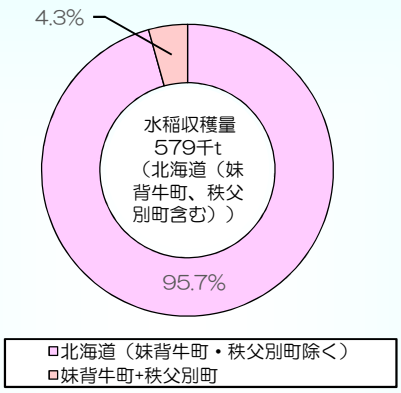
《地域の農業の状況》

≪２町の農業産出額割合≫



出典：平成27年市町村別農業算出額（推計）

≪北海道における２町の水稲収穫量割合≫



出典：平成28年作況調査

「特Ａランク」のブランド米

＜地域ブランド米（北彩香、いなほの鐘）＞

《農商工連携による地域の発展》

＜ちっぷべつ緑のナポリタン＞

特産品であるブロッコリー等を活かした「ご当地グルメ」や「加工食品」を開発。農商工連携により、原材料の生産、加工、飲食店での提供までを地域で完結させることにより、地域農業の収益力の向上を図っている。

【地区の課題】

本地区の基幹的農業水利施設である八丁目頭首工は、洪水等の自然的状況の変化に起因する河床洗掘の進行により、浸透路長が不足し、施設の機能が低下していることから、頭首工の転倒によって農作物、農地等への災害のおそれが広域的に生じています。

■河床洗掘による頭首工の安全性低下

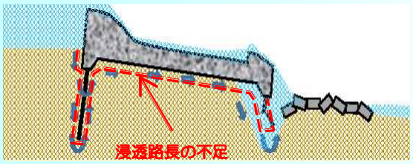
年度	八丁目頭首工 計画高水流量	
昭和40年	2,200m^3/s	八丁目頭首工造成時
⇩		
平成19年	2,500m^3/s	計画高水流量の変更

頭首工の安全性が不足

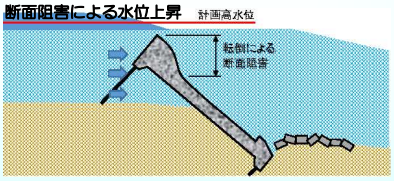
平成14年撮影

令和3年撮影

■八丁目頭首工の用水供給の停止、広域的な災害のおそれ



・河床洗掘により、下流側護床工が低下し、浸透路長が不足。
・浸透路長の不足に伴うパイピングによる固定堰転倒の懸念。



・固定堰の転倒にともない、用水供給の停止に加え、河川堤防が破堤した場合、広域的な災害が発生するおそれ

【事業の効果】

八丁目頭首工等の改修を行い、頭首工の施設機能を回復することにより、農作物、農地等の広域的な災害を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定を図ります。

【現況】

頭首工等の改修

【改修後イメージ】

農業生産の維持

【米の収穫状況】

【地区の概要】

◎関係市町村　：雨竜郡妹背牛町、同郡秩父別町
◎受益面積　　：829ha
◎受益戸数　　：58戸
◎主要工事計画：頭首工（改修）１カ所、揚水機（改修）１カ所、導水路（改修）１条 L=2.5km
◎工期　　：H29 ～
◎主要作物　　：水稲、小麦、大豆、ブロッコリー、花き(スターチス)